

先人の気風を今に受け継ぐここは「しぶたみ」

広報第10号

しぶたみ

発行 渋民振興会
令和7年1月23日

令和7年は「飛躍の年に」

渋民振興会長 芦 宏

新年明けましておめでとうございます。

渋民地区民の皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えの事とお慶び申し上げます。平素は渋民振興会活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、1月1日の能登半島地震から始まり、全国各地で豪雨災害がありました。また、日々の生活に目を向けますと、物価の高騰や新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等感染症の流行等により、日々の生活が脅かされた1年でもありました。

ただその中で、3月に東川院の国指定重要文化財の「木造観音菩薩坐像」が令和の大修理を終え、京都より帰って参りました。このことは渋民にとって大きな財産であり、大きな喜びでもありました。

また、渋民市民センターの管理運営を地区で行う渋民振興会による指定管理が4月からスタートしました。これまで一関市のご指導と渋民地区民のご協力により何とか管理運営を進めて参りました。まだまだ十分とは言えませんが、今後はより住民のニーズに即した管理運営を心がけて参ります。

本年令和7年は、予想以上のスピードで進む少子高齢化により、地域コミュニティの維持・醸成はますます難しくなることが予想されますが、当渋民地区にとっては「飛躍の年」になると私は思っています。それは、渋民にとって待望の「道の駅」の営業が4月からスタートするからです。

「道の駅」営業は、地域活性化の起爆剤となり、地域づくりに繋がるものと大きな期待をしております。

いずれ渋民の地域づくりは皆さんの貢献の上に築かれるものと思っております。今年も一丸となって、さらなる飛躍を目指しましょう。

最後になりますが、地区民の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

門松と 新年スタート！

しめ縄作り講座で講師を務めていただいた熊谷東さん（12区）から、門松をご提供していただきました。おかげさまで、素敵な新年を迎えることが出来ました。ありがとうございました。



渋民の備忘録

A memoir of shibutami

No.13

ああ、楽しい渋民小学校②

-学校の怪談？-

平成6（1994）年頃に昔の体育館（講堂）の天井の隙間から「人形がみえる」と噂があり、同級生達と体育館に見に行ったことを覚えています。私は目が悪くて何にも見えなかったんですが(笑)。何十年も経っており、自分の記憶違いかなと…だって体育館の天井に人形があるなんて・・・そんな変な話・・・。

青い目の人形？

数年前に民俗資料館で「青い目の人形展」という企画展があり、その際に「あれはもしかしてそういうことだったのかな？」と思ったわけです。あの怪談の人形は「青い目の人形」だったのかしら？と。

NO！青い目ではなく白い人形！

気になったら、調べてみる！と、ということで、某市民センターにお勤めの元渋民小学校教諭に問い合わせ！！「先生、体育館の天井に人形が見えるって噂があったの覚えてますか？」という突拍子もない質問に、「覚えてる覚えてる(笑)俺みたもん」と、ケラっとしたお返事がありました(笑)

ただ、先生からの情報によりますと「青い目の人形」ではなく《白い、顔だけの人形》だった」そうです。はて・・・

白い、顔だけの人形？

・・・！！

私、知ってる！！
知ってます！！
これで見ました⇒



このアルバムが何かといいますが、先日集会センターから見つけた資料。平成元（1989）年の渋民小学校改築に関わっての、「校舎とのお別れ会」の様子や「校舎改築促進委員会」の活動の様子を収めたものです。そこにですね、前回の備忘録で記載した昭和16年時の上棟式の棟板と人形の写真があったんです。



昭和63（1988）年の旧校舎解体の際に、天井から上の写真の棟板等が出てきたとのこと。まさに「白い、顔だけの人形」！

新しい校舎建築中はお寺の横あたりに仮設校舎を建てて8カ月ほど授業を行っていたようです。その間、

平成元年当時の体育館（講堂）



学校の備品やこの棟板（人形）も体育館（講堂）の屋根裏に置かれていたとしてもおかしくなさそうです。

棟板に関しては色んな方は口を揃えて「新校舎の屋根裏部屋にあったと思う」とおっしゃっていました。いつの時期かで体育館屋根裏から移動したと思われるが、現在人形は行方不明。

やっぱり先生って偉大です

先生に再度お話をきいたところ、「あれな、思い出したぞ、《オシラ様》だ。旧体育館を解体するとき（平成7（1995）年）誰かが持って帰ったんだ」とのことでした。

先生って凄いですね、なんでも覚えてる・・・。

ただ、うちの世代の数人に聴き込むと私と同じように「呪いの人形」的な怪談話のように覚えている人が何人かいました(笑)子どもたちを楽しませるために先生が考えた噂話じゃないかなあと思った小野寺ですm(_ _)m

怪談話改めオシラサマ

民俗資料館の高橋さんにきいたところ、この白い人形がオシラ様で当たりだそうです(*▽*)

オシラ様は、日本の東北地方で信仰されている家の神なんですけど、渋民ではあまりきかないですね。確か以前にいちのせき市民活動センターさんが調べた時には、渋民には1、2軒のお宅しかお持ちではなかったと記憶しています。

集会センターで保管してあったのは、棟板だけですので、人形の行方をご存じの方は情報提供をお待ちしてます(笑)

あとがき

ということで、怪談の正体見たりオシラ様。ということで今回の備忘録はおしまいです。

渋民の備忘録は小野寺の興味関心と、皆様の優しさで成り立っております。ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございます。

〈一ロメモ〉 青い目の人形とは？

ざっくりいえば、青い目の人形というのは、1927年（昭和2年）に、アメリカ合衆国から日本に両国間の親善を目的として贈られた人形なんです。ただ太平洋戦争（第二次世界大戦）中は、アメリカを敵視する風潮だったことから、敵性人形としてその多くが処分されましたが、一部、忍なくおもった人達各々に保管しており、岩手県では18体が確認されているそうです。

5年ぶり新年交賀会開催

令和7年1月11日（土）、令和2年から5年ぶりに渋民地区新年交賀会が開催されました。コロナウイルス、インフルエンザの感染を考慮しながらの開催となりましたが、久しぶりの交賀会に皆さんが笑顔が絶えない会となりました。今年は祝詞を小山勝則さん、佐藤健一さんが歌ってくれました。余興では、芸術文化協会渋民支部の彩の会さんの大正琴が披露され、最後にアンコールで東京ラブソディーも演奏して頂きました。参加者からは「新年に聴きたくなる音色で、本当に素敵だった」等の声がありました。

最後に8区行政区長金野伸さんの万歳三唱で新年交賀会はお開きとなりました。来年も是非ご参加をお待ちしております。



一月一日 歌
伴奏 小島聖子さん



彩の会の皆さん



白熱！激闘！かるた大会

地域ふれあいday

令和7年1月12日（日）、渋民振興会教育・文化部長主催地域ふれあいday「芦東山先生かるた大会&凧あげ」が、芦東山先生顕彰会、渋民老人クラブ連合会共催で開催されました。今年は凧あげの前の凧作りに悪戦苦闘。でもみんな立派な凧が完成しました。凧あげは残念ながらおうちに持ち帰っての実戦となりました。



かるた大会はA4サイズのかるたを使用して行いました。最初、おすおすと控え目にみていた子どもたちも最後にはみんなでかるたに向かって猛ダッシュしていました。怪我がなくなによりです(笑)



東山郷福餅つき隊さんに餅つき体験をさせてもらいました！最後にはみんなでつくたてのお餅を口いっぱい頬張りました(*。)



最後のお菓子撒きには、渋民老人クラブ連合会佐藤健一さんから、手作りのおいしい干し柿を提供していただきました(*▽*)有難うございました

渋民ここだけの話

12月25日（水）、渋民老人クラブ連合会さんのクリスマス誕生会が開催されました。スコップ三味線や岩渕忍さんの女形、サンタさんも登場に大いに盛り上がりしました。

